

行政への要望等（自由意見）

行政に対する要望や意見について、自由に書いてもらったところ、616件(「特になし」は除く。)の要望や意見が寄せられた。

内 容	件 数
1 保健医療施策の充実	246
医療体制	80
患者受入体制	59
医療情報	28
医療人材	24
健康・検診	55
2 負担のあり方	77
医療保険	46
その他費用負担	31
3 保健医療・福祉施策の充実	69
高齢者	41
子供	16
医療・福祉一般	12
4 保健医療施策の広報	65
5 その他	159
都政一般	20
調査関係	60
その他	79
合 計	616

主な要望・意見は以下のとおりである。

1 保健医療施策の充実

○ 医療体制

- ・ 地域医療の充実・情報・信頼できるかかりつけの医者がいたらいいと思う。(40代女性)
- ・ 都の行政は、地方と比較するとかなり充実していると思う。しかしながら、小児科・産科についてはより一層の充実を目指してほしい。(70代男性)
- ・ 昔のように往診して下さる医者がいてくれるとよいと思います。具合が悪いのに、いちいち病院に行くのは大変です。(70代女性)
- ・ 本当に患者の立場、都民の立場に立った医療を充実させていただきたいです。これからは特に予防医療がもっとも大切だと思います。(40代女性)
- ・ 複数の病を持つ場合、主治医は各診療科の先生になる。従って複数の主治医があり、患者自身が総合的に管理し、各主治医に専門診察を受ける。地域医療の推進のためにもデータ一元管理のもと、医療の確実性や安心感のもてるシステムを望む。(70代男性)
- ・ 私は今、脳出血でリハビリに通院しています。でも、リハビリが必要でも期間が終わりとなりました。まだまだリハビリが必要な状態なので、矛盾を感じています。(60代女性)
- ・ 老後の医療に不安が大きい。老人の場合、病気の治療と療養は切り離せない。しかし、高齢の患者を病気の治療は三カ月病院で受け入れられるが、療養はしないと追い出される。それでは療養先老人施設があるのかというと、ほとんど入れない。しかも、在宅医療の体制も整っていない。介護する人の負担も多大である。(60代女性)

○ 患者受入体制

- ・ 救急車を呼んだ時に、搬送先の病院がすぐみつからずたらい回しにされて、遠い病院に搬送されたりすることのないようにしてほしい。(70代女性)
- ・ 地域格差のない救急医療搬送体制の確立を急いでほしい。(60代男性)
- ・ 救急車を呼んだ時の待ち時間が長く受け入れ先がきまらないのは本当に困る。私の母の場合は3時間以上受け入れ先がみつからず、随分遠くまで行ったことがある。せめて自分の住んでいる町の近くの病院が受け入れてほしい。(60代女性)
- ・ 近くに大きな病院や高度技術のあるいい病院があっても、救急の場合、離れた所へ運ばれて後々家族も病人本人も大変苦労するケースが多々あり、救急の場合もなるべく近くで手当を受けることができ、その後もそのまま一般病棟で治療が継続できることが可能になれば、病人も家族もよりよい形で病気を治すことができると思います。(40代女性)

- ・ 平日の夜間または土・日・祝でも受診可能な病院を増やして欲しいです。平日フルタイム勤務ですと、現状では仕事を休まないと受診できません。(20代女性)
 - ・ 平日に休診日があってもいいので、日曜に診断してほしい。(20代男性)
 - ・ 仕事をしながら、C型肝炎インターフェロンを打っています。土日は病院が休みのため、平日、出勤前に病院に寄ってから出勤しています。土曜日でも隔週でなく毎週ひらいてほしいです。(30代女性)
 - ・ 入院の際保険適応のベット数が少なく殆ど満床状態です。医師から個室でお願いしますと言われ1日2万～4万円もかかります。入院費の中で差額ベット代が大きなウェイトを占め生活を圧迫します。保険内で安心して入院できる医療システムの構築と病院の受け入れ体制の充実を望みます。(50代女性)
- 医療情報
- ・ 医療機関と医師の情報が良く分からない。いざ病気になった場合にどこの病院に行くべきか、わかりやすい情報があるのか？(60代男性)
 - ・ 病院の先生の得意な分野(例えば「ぜん息」が得意)などを知りたいです。(20代女性)
 - ・ 病院や先生の治療方針などがわかり、患者が通うところを選べれば良いと思う。(20代女性)
- 医療人材
- ・ 高度医療技術を有する医師の充実及びその育成体制を希望します。(40代男性)
 - ・ 医師や看護婦にゆとりがなさ過ぎる。適切な労働条件を整えて欲しい。(40代女性)
- 健康・検診
- ・ 生活習慣病予防に対する広報(TV, チラシ等) 市町村による無料定期健診の広報を行う。対象は高齢者ではなく、働き盛りの壮年男女。一般的に病気を宣告されることを嫌がる人が大多数であるが、病気は早期発見、早期治療によって大部分が治療されることを広く周知すると良い。また、そうすることで医療費の削減にもつながる。(60代男性)
 - ・ 乳がん検診を受けたかったが、年齢が決まっており来年まで待つように勧められた。不安に思う時は人によって異なっているのだから、2年に一度でも良いけれど、その時受けられなかった人には指定年度でなくても受けられるようにしていただきたい。(60代女性)
 - ・ 婦人科のがん検診を前のように毎年やってほしい。24～25年前に病気が分かってよかった。それからは年1回のがん検診を全部見てもらっています。前は無料だったのに、今は少しですがお金がかかります。でも、見てもらったほうが良いと思います。年に1回見てもらうだけで安心です。高くなってもこまりますが、なるべく多くの人が診察してもらえよ

うに、対象年齢も若くしてもらいたい。(50代女性)

- ・ がん検診の実施医療機関をもっと増やして欲しい。今回申し込んでも、すべて満杯で終了となっていた。早急な対応を希望する。(60代男性)

2 負担のあり方

○ 医療保険

- ・ 国保も払うのが困難に思えるほど厳しい生活環境のなか、病院での支払いも高額なので医療を受けることをあきらめざるを得ない状況です。とにかく医療費が高い。(40代女性)
- ・ 医療費の自己負担が多すぎて少しぐらいのことは我慢をしてこじらせてしまうことが多々ある。(60代女性)

○ その他費用負担

- ・ 中学生まで医療費の負担がないのは大変助かります。子供には専門のお医者に見せるべきかそうでないか迷った時、負担がないと専門のお医者様にかかりやすいので大変ありがたい制度です。(40代女性)

3 保健医療・福祉施策の充実

○ 高齢者

- ・ 保健医療施策について知らないことが沢山ありました。80才までは医者にかかることはほとんどありませんでした。90才を超えた老夫婦で老々介護の不安を感じています。(90代女性)
- ・ 高齢者が終末の医療を自宅で受けられる医療体制を整備してほしい。(80代男性)
- ・ 在宅介護のヘルプの充実がほしい。(50代女性)
- ・ 地域の高齢者が年金受給額内で入所できる老健・特養・軽費老人ホームの充実をお願いしたい(特に老人保健施設の充実)。(20代男性)
- ・ 介護が必要でも入所出来ない人、家族が増えています。現在、実家にて父の介護をしている母の負担は大きく、ストレスにもなっています。父本人も家族に負担をかけていることを感じながら生活しています。自分で生活することが出来るようにしていくための施設は高額で入所させることができないので、必要と感じている家族が金銭面での負担の少ない施設をつくっていただきたいと思います。(40代女性)
- ・ 家で一人留守番をしている時、具合が悪くなったらどこに連絡したらよいか、連絡出来な

い時はどうしたらよいか不安です。(80代女性)

- ・ 行政が思うほど一般人は、施策などを知りません。もっと、地域医療を充実させて高齢者が増える時代に対する準備をしっかりと行ってほしいです。(40代男性)

○ 子供

- ・ 出産後1~2ヵ月くらい育児に関してどこに相談したらよいかわからずに悩んだことがあったので、それをもっと簡単に連絡できるようにしてほしい。(出産した病院が区外で遠く、すぐに受診もできず、保健婦さんに電話をかけてよいのかも悩んでいた気がします。何を悩んでいたかは今となっては思い出せませんが、気軽に電話とかメールできる体制が、わかるようにしてあればよいと思います。いろんなシステムがあることは半年くらいたってから知ったので。(30代女性)
- ・ 昨年、妊娠出産し、現在育児中です。私自身は妊娠、出産も無事過ごすことができましたが、出産できる病院が見つからず困っているという話を聞きます。また育児中のママ達のストレスはやはり多々あり解消する場にも困ることも多いです。それらが解消できるようになると良いな—と思います。(30代女性)
- ・ 若い人はまだ制度や医療に関してわからないことが多いと思います。誰にでも分かるような説明などが欲しいと思います。最近思うことは、保育施設が本当に少ないと思います。働きたくても働けない、近場にないので利用できないです。もっと子供を産める・育てられるようになっていただきたいです。私の周りでも皆、金銭的なことも含めてそのような理由で結婚・出産をためらう人が多いです。(20代女性)
- ・ 小児救急相談は、深夜にこそ実施していただきたいものです。深夜に病状が悪化するのはよくある話ですから。それが小児科の深夜救急外来の混雑緩和や不要な救急要請件数の減少にもつながると思うのですが。深夜、子供の病状を誰にも相談できず不安に耐えきれなくなって救急外来に行ったり救急車を呼んでしまう人は多いと思うのです。(40代女性)
- ・ 発達障害児についての取組が、先進国の中でも日本が一番遅れていると思います。就学前においては、地域の支援センターにおいて相談・療育が受けられるのにもかかわらず、就学してしまうとそういった機関は民間医療やNPO法人に限られ、公的機関を受診できるのは重度の発達障害児のみになってしまいます。学校にいくらスクールカウンセラー学級を配置しても限度があるように思われます。就学後にもっと地域の支援センターで本格的な療育が学校の支援とともに受けられるような東京独自の東京モデルが全国に先駆けてできることを切望します。(30代女性)

○ 医療・福祉一般

- ・ 救急に通報せねばならなくなった時や、AEDを使う使わないのどっさの判断が自分にはできそうにないので、講習を気軽に受けることができればうれしいなと思っています。自動車教習所で人工呼吸と心臓マッサージは習いましたが、年1回は練習してみたいし、道で人が倒れたら意識レベルの見方やAEDの使い方くらい知っていないと、自分が倒れた時不安だし・・・どこかに出向いて教わる、というより出先でたまたま講習してたから受けてみた

というくらいの温度が理想です。(20代男性)

- ・ 病気になっても、病院へ車で送り迎えしてもらえない人は沢山います。バスで通院する人のために、バス停を病院のすぐ近くに作ること。バスを頻繁に運行するなどの指導をしていただきたい。バス停から離れていると、バスを降りてから歩道も完備していない道を杖をついて病院まで歩くのが気の毒な人達をよく見かけます。(70代女性)
- ・ 昨年、家族を介護の末に亡くしました。存命中でできる限りの介護サービスを受け助かった面も多いのですが、車椅子での通院では介護タクシーが必要でした。しかし、予約が必要なことと急に受診したい時に空いていなかったりと・・・まだまだ介護タクシーそのものが少ないと痛感しました。是非、弱者が受診するための手段を確保してください。救急車を頼むほどでもないが自力では行けない人のために。救急車を頼むのを遠慮する人もいます。命を守ってください。(50代女性)

4 保健医療施策の広報

- ・ 多くのメディアから情報が発信されてもパソコン利用のインターネットにシフトしており、年寄りには自主的に情報を得る気持ちがないと、何一つ知らない、知らされない心配があります。
新聞もとらない人が増えているそうですから、テレビくらいしか情報が末端まで届く方法はないかもしれません。(60代女性)
- ・ 最近はホームページで情報を発信することが多くなっているが、老人はパソコンの操作が苦手な方が多いので、別の形で情報を入手できるようになればと思う。健康面等でもっと相談がしやすいように窓口があればいいのではないかと。包括支援センター等があるが、実際、知っている方は少ないのでは。(30代女性)
- ・ 「保健医療施策」は、ほとんど気付かずにすごしておりました。時々(TVなどやっているのでしょうか)PRや解説を一般に関心を持つようにお知らせください。突然めまいして立っていられなかった午前中。家人が気づいて都の「調査票」に出ていることを思い出して、先ず、救急車を呼ぼうかどうか相談してくれました。お陰さまで救急車のお世話になり、早く病院にゆき、検査を受けることができました。その日は大事にいたらず回復し、家に帰ることができました。老後自分のことがままならぬようになった時、その時あわてて行政に頼らないよう催しものに参加していきたいと思っております。区などで催してもらえるとありがたいです。(医療・介護・老後のありかた・生活について)(70代女性)
- ・ 知らない人が多いのではと思います。特に80歳以上の一番疾病の多い高齢者の方々はインターネット・パソコンなどやるのでしょうか？新聞やテレビで広く知らせて下さい。わかりやすい言葉で・・・。(60代女性)
- ・ 都の保健医療行政も市のそれも住民には見えにくいし、わかりづらいので、普段の広報紙の中に入れるのではなく、今後の高齢社会にはもっとも重要な行政サービスなので、別冊子で定期的に発行すべきではないかと思う。(50代女性)

5 その他

○ 都政一般

- ・ これからはもっと、お金と時間がない都民にやさしい、便利な東京都、保険医療行政になってください。お願いします。(30代男性)

○ 調査関係

- ・ このアンケートで知らない事を知りました。めんどうだったけれど有意義でした。(60代女性)
- ・ アンケートをもう少しわかりやすく、量をコンパクトにしてほしい。(50代女性)
- ・ アンケートが長くてちょっと煩雑に感じた。(20代女性)
- ・ 調査の後どのような結果になったのか、報告が聞けると良いと思います。この調査がどのように活かされているのか知りたい。(50代女性)

○ その他

- ・ アンケートの項目のうち、専門用語で解らない用語があります。例 トリアージについても、説明を読まないとわからない。もっと一般の人が解るようにしてほしいと思う。(70代男性)